



MIE PREFECTURE ENVIRONMENTAL CONSERVATION AGENCY

みえか

2016
第39号

平成28年1月

発行：一般財団法人 三重県環境保全事業団



センリョウ



フクジュソウ



ホトケノザ



「みえ環境フェア2015」を開催しました！

三重県地球温暖化防止活動推進センターでは、「エコってなに？みんなで体験してみよう！」をテーマに、平成27年12月6日（日）に「メッセウイング・みえ」において、「みえ環境フェア2015」を開催しました。当日は天候にも恵まれ多数の方にご来場をいただきました。

ステージでは、「第4回みえ環境大賞」の表彰、「環境トーク」として内田淳正三重大学前学長と朴恵淑三重県地球温暖化防止活動推進センター長の対談が行われました。



ホールでは、環境団体、学校、企業、行政機関等75団体の参加により、最新のエコカーや風力発電システム模型の展示、住宅メーカー等の温暖化防止に向けた取組の紹介、木の実や間伐材等の自然素材やリサイクル素材を使った工作、シミュレーターを利用したエコドライブ体験等が行われました。

また、フェア開催にあわせて中部ブロック地球温暖化防止活動推進センター長会議及び推進員合同研修会が開催され、共同アピールが発表されました。

お問い合わせ 三重県地球温暖化防止活動推進センター

tel 059-245-7517 fax 059-245-7518

ホームページ <http://www.mec.or.jp/ondan/>



三重県自然環境保全条例に基づく開発行為届出

三重県では1haを超える自然地が含まれる開発行為については、三重県自然環境保全条例に基づき、希少野生動植物調査を実施し、県に届出（公共事業の場合は通知）を行う必要があります。

なお、届出日から30日間は開発行為に着手できずに、県はこの30日間で必要に応じて助言又は勧告を行うことになっています。（公共事業の通知では適用されません。）

当事業団では、同条例に基づく希少野生動植物調査（文献調査、聞取調査、現地調査）を実施しており、届出書作成のサポートをさせていただきます。



三重県自然環境保全条例に基づく開発行為届出

ご存知ですか？

1ヘクタールを超える自然地が含まれる開発行為には、知事への届出が必要です。

三重県自然環境保全条例（平成15年三重県条例第2号）第34条の規定に基づく開発行為の届出制度は、1ヘクタールを超える規模の自然地が含まれた開発行為をしようとする事業者に対して、希少野生動植物の保護や地域特性に配慮した緑化を求めることにより、自然環境損壊の抑制を図っていくことを目的としています。

開発行為の「届出制」を採用しているのは、開発行為を禁止するのではなく、事業者に対し自然環境の保全に対する自主的な配慮を求めるとともに、著しく支障を及

ぼす行為を未然に防止することを目的としているからです。事業者は、自然環境の保全に対する配慮の内容について、説明する責任があります。

知事は、希少野生動植物の種の保護、緑地の確保その他自然環境の保全のために必要があると認めるときは、届出をした者に対して、助言又は勧告をすることがあります。

なお、国の機関又は地方公共団体が行う行為については、届出に代え通知していただくことになります。

※1自然地とは？

樹林地、農地、湿地、湖沼、その他（草地、岩場、河川、海岸など）を指し、自然地に該当するか否かは、現況で判断されます。

※2届出（通知）が必要な開発行為とは？

- ①宅地の造成（工業団地の造成も含まれます）
- ②ゴルフ場、運動場などの屋外運動施設用地の造成
- ③遊園地などの屋外娯楽施設用地の造成
- ④墓地用地の造成
- ⑤鉱物の掘採または土石の採取
- ⑥土地（農地用）の開墾
- ⑦水面の埋め立てまたは干拓 他

届出にあたって配慮していただきたい事項

- | | |
|--|--|
| 1:希少野生動植物種の保護
①既存資料調査
②専門家への聞き取り調査
③現地調査
④保護対策の検討 | 2:緑地の確保
①緑地基準に基づく緑地の確保
②地域特性に配慮した樹種等の選定 |
|--|--|

届出の流れ



お問い合わせはこちらまで。

一般財団法人 三重県環境保全事業団
 調査部・環境調査課
 （担当：森／緒川）

〒510-0304 三重県津市河芸町上野3258番地
 TEL:059-245-7509 FAX:059-245-7519





産業廃棄物処分先の現地確認について

新小山最終処分場では、産業廃棄物埋立処分委託契約（継続契約）を締結している排出事業者の方々を対象に「三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例」に基づく産業廃棄物処分先の現地確認と説明会を毎年3月に開催しています。

今年度も平成28年3月に開催を予定しておりますので、関係事業所の皆さまは、ぜひご参加ください。後日、ご案内させていただきます。

なお、説明会に参加できない場合には、随時、個別にも対応させていただきますので、お問い合わせください。

1. これまでの参加事業所数、参加人数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加事業所数	83	79	72
参 加 人 数	108	95	87

2. 説明会の状況



お問い合わせ先 廃棄物管理部 管理課 tel 059-328-2567 fax 059-328-8652



RoHS指令制限物質の追加情報 (フタル酸エステル類 4 物質) の分析について

欧州では、有害物質の電気・電子機器への使用を制限するため、廃電気電子機器指定（WEEE指令）と有害物質使用制限指令（RoHS指令）により、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDEの6物質が含有されている製品のEU地域への輸出が禁止されています。

また、今後（2019年7月22日から）は、次のとおり、新たにフタル酸エステル類4物質が追加制限されることになっていますが、当事業団では既に多数のフタル酸分析を実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

RoHS指令追加制限物質 開始日：2019年7月22日

①フタル酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHP) ②フタル酸ジブチル (DBP)

③フタル酸ブチルベンジル (BBP) ④フタル酸ジイソブチル (DIBP)

許容濃度：各々 0.1% (1000ppm) 4種合計0.1% (1000ppm)

検査料金：26,000円/1検体 (税別)

お問い合わせ先 調査部 環境分析課 フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7508 fax 059-245-7516

万葉人の 愛した草木

その三十八



明日よりは 春菜採まむと 標めし野に

昨日も今日も 雪は降りつつ

山部赤人(巻八の一四二七)

「明日からは若菜をつもうとシメを結って
いた野に、昨日も今日も雪が降っている。」と
いう意味です。「標めし野」とは、今でも、共
有地の野や山に入って、シバやカヤを刈ると
きに、数本のカヤの頭を結んでシメをするこ
ころがあります。このように「シメを結った野」
のことです。正月の七草を摘む頃の情景がよ
くでてきます。万葉集には「なはるな、わかな」
と詠まれている歌が数多くあります。野や山
に自生し、新芽・新葉・茎・根など食用に供
したものの総称として使われている言葉と思
われます。従って、キク科・セリ科・アブラナ科・
ユリ科・アカザ科などの多くの種がこれにあ
たると思います。また食用となる魚類につい
ても「な」という場合があります。ここでは、
春の七草(せり・なずな・おぎょう・はこべら・
ほとけのざ・すずな・すずしろ)のうち、ナ
ズナをとりあげました。正月の七草がゆは、
平安時代の初め頃、中国から入ってきたなら
わしです。七草のお吸い物は万病を直すと信
じられています。ナズナとは、夏に枯れるこ
とから「夏なき菜」がなまったとか、撫菜
すなわち、小さくて可愛いのでなで愛する
菜の意味ともいわれています。



なはるな・わかな

葛山博次 著
「万葉集の植物」より

ISO9001,14001改正に伴うセミナーのご案内

◆ ISO 9001/14001 ～ 2015年版解説セミナー～

開催日時	平成28年1月8日 9時30分～12時30分 (JIS Q 9001) 13時30分～16時30分 (JIS Q 14001)	平成28年2月4日 9時30分～12時30分 (JIS Q 9001) 13時30分～16時30分 (JIS Q 14001)
場 所	当事業団 河芸社屋	じばさん三重 5階 大研修室
参 加 費	JIS Q 9001 ￥9,800 (消費税別、規格書付) JIS Q 14001 ￥9,800 (消費税別、規格書付)	同左

◆ ISO 9001 内部監査員 2015年版対応 スキルアップセミナー

本セミナーは、2004年版の内部監査員養成セミナーの修了者を対象としています。

開催日時	平成28年1月15日 9時～17時	平成28年2月22日 9時30分～17時30分
場 所	当事業団 河芸社屋	愛知県産業労働センター (ウインクあいち)
参 加 費	15,000円 (消費税別、テキスト代含む)	同左

◆ ISO 14001 内部監査員 2015年版対応 スキルアップセミナー

本セミナーは、2004年版の内部監査員養成セミナーの修了者を対象としています。

開催日時	平成28年1月22日 9時～17時	平成28年2月23日 9時30分～17時30分
場 所	当事業団 河芸社屋	愛知県産業労働センター (ウインクあいち)
参 加 費	15,000円 (消費税別、テキスト代含む)	同左

お問い合わせ先 国際規格審査登録センター (ISC) 研修・BCP チーム tel 059-245-7514 fax 059-245-7524
ホームページ <http://www.mec.or.jp/isc/>

■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515
フリーアクセス 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>

■小山事務所

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
管理課 tel 059-328-2567 fax 059-328-2967
施設課 tel 059-328-2727 fax 059-328-8652

■新小山最終処分場 (埋立処分事業)

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
tel 059-328-2727 fax 059-328-8652

■小山リサイクルセンター (破碎処理)

〒512-1102 四日市市小山町字大犬谷 3258
tel 059-328-2567 fax 059-328-2967

●事業団へのご意見・ご希望または「みえか」のご感想を
お寄せ下さい。e-mail: mec@mec.or.jp